



## 資料目次

---

---

- ◆ 平成17年度実施事業の取組み状況 ..... p.1
  - 1 全体概要
  - 2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード整備関連事業）
  - 3 県民との協働による森林づくりの推進（周知事業）
  
- ◆ 平成18年度事業計画 ..... p.8
  - 1 概要
  - 2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード整備関連事業）
  - 3 県民との協働による森林づくりの推進（周知事業）
  
- 3 やまぐち森林づくり県民税関係報道資料綴り ..... 別冊

## 平成17年度実施事業の取組み状況

### 1 全体概要

荒廃した人工林や繁茂した竹林など森林の再生に取り組むとともに、事業初年度に当たる平成17年度においては、やまぐち森林づくり県民税の趣旨や制度の内容についての周知を行った。

#### 《平成17年度事業計画と実績見込み（平成18年2月末現在）》

項目	平成17年度事業		備考
	計画	見込み	
健全で多様な森林づくりの推進（ハード整備事業）			
公益森林整備事業	整備面積 事業費	330ha 167,000	330ha 167,000
竹繁茂防止 緊急対策事業	整備面積 事業費	145ha 65,000	145ha 66,500 1,500千円を追加 （2月補正）
やすらぎの森整備事業	整備箇所 事業費	3箇所 30,000	3箇所 30,000
魚つき保安林等海岸林 整備事業	整備面積 事業費	2ha 5,000	2ha 5,000
県民との協働による森林づくりの推進（周知事業）			
県民との協働による 百年の森づくり推進事業	事業費	9,000	7,500 ・森林づくりフェスタ ・各種広報
計		276,000	276,000

（注）事業費の金額単位は千円。

### 2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード整備関連事業）

荒廃したスギやヒノキの人工林の再生を行う「公益森林整備事業」をはじめとする4種の整備事業に取り組み、当初計画どおりの事業を進めることができている。

なお、ハード整備事業の実施に当たっては、人家に近い生活圏などで整備が急がれる竹繁茂防止に特に配慮し、このための緊急対策事業に積極的に取り組んだ。

## (1) 公益森林整備事業

荒廃したスギやヒノキの人工林の再生を行う「公益森林整備事業」については、27市町村300箇所で実施し、当初計画の整備を達成する予定である。

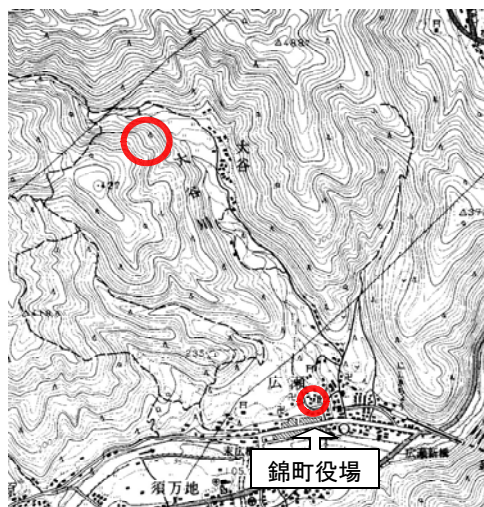
計画	実績見込み	達成率	備考
330ha	330ha	100%	

### 実施例

(位置図)

#### 【概要】

場所	岩国市錦町広瀬
面積	1.63ha
施行内容	ヒノキ40年生の強度間伐、林内の整理



(施行前)



(施行後)



## (2) 竹繁茂防止緊急対策事業

26市町55箇所で実施。市町村からの要望調査の結果、住宅地や公共施設の周辺など人々の生活圏での竹の繁茂対策が大きいことなどを踏まえ、ソフト経費の残余1,500千円を本事業に充当し、当初計画を超える整備面積となる。

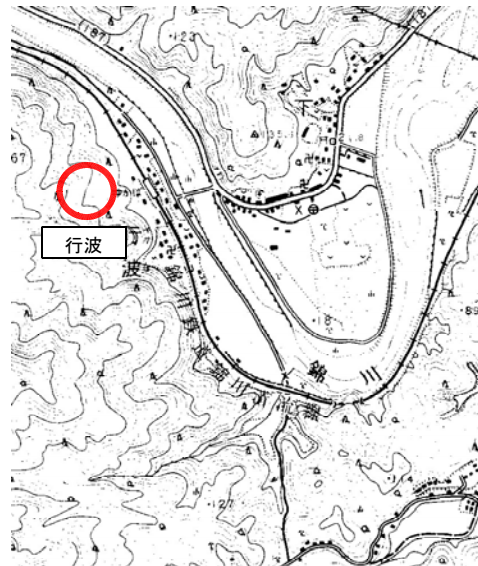
計画	実績見込み	達成率	備考
145ha	145ha	100%	

### 実施例

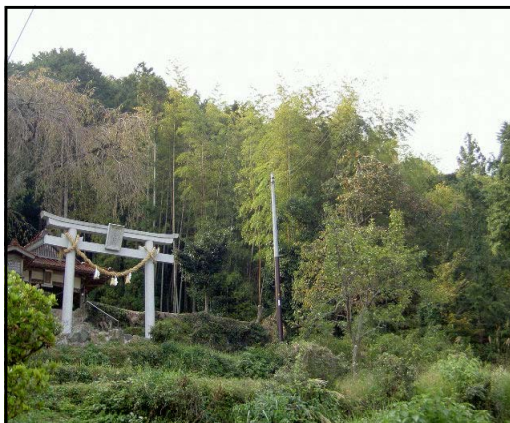
#### 【概要】

(位置図)

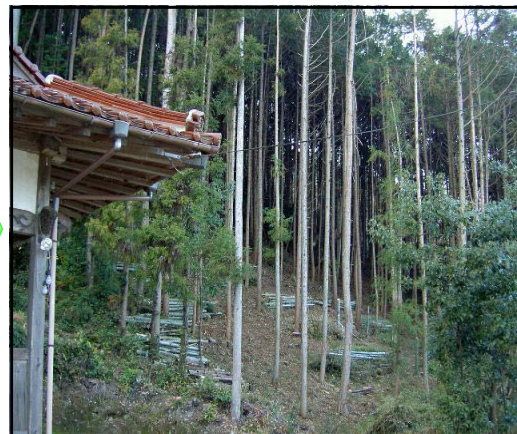
場所	岩国市行波
面積	3.20ha
施行内容	スギ、ヒノキ、広葉樹林に侵入した竹の伐採、林内の整理



(施行前)



(施行後)



### (3) やすらぎの森整備事業

森林づくりへの理解を促進する場となる「やすらぎの森」について、県内3箇所での整備を進めている。

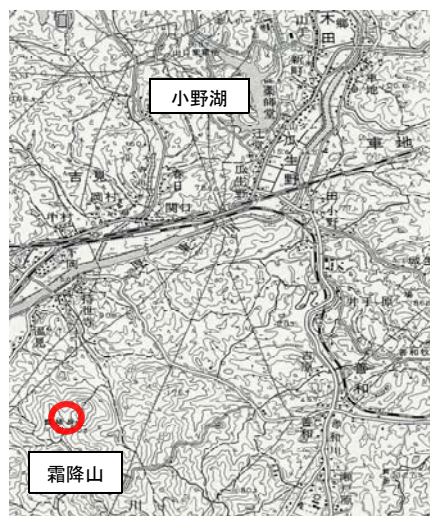
計画	実績見込み	達成率	備考
3箇所	3箇所	100%	光市伊藤公記念公園周辺 山口市長者ヶ原 宇部市霜降山

#### 実施例

##### 【概要】

場所	宇部市霜降山
施行内容	エコトイレ1基

(位置図)



(施行前)



(施行後)



#### (4) 魚つき保安林等海岸林整備事業

松くい虫や台風などの被害により荒廃した海岸林について、県内2箇所で、新たに抵抗性マツを植栽するなどの整備を行った。

計画	実績見込み	達成率	実施箇所
2ha	2ha	100%	長門市仙崎青海島（1.40ha） 萩市櫃島（0.60ha）

#### 実施例

##### 【概要】

場所	萩市櫃島
面積	0.60ha
施行内容	抵抗性マツ等の植栽約1,200本、防風垣約300m



(位置図)

(施行前)

(施行後)



### 3 県民との協働による森林づくりの推進（周知事業）

県民税導入初年度である平成17年度は、導入目的や制度の内容についての理解促進を図るため、パンフレットの配布やポスターの掲示、新聞広告や県広報誌などを通じた周知、「森林づくりの日」の制定や、これと合わせた「やまぐち森林づくりフェスタ」の開催など各種周知活動を実施した。

また、事業の実施に当たっては、県民の皆様のご意見をお聴きしながら進めるといふ本事業の趣旨を具体化するために、「やまぐち森林づくり推進協議会」を設置し、事業の進捗に合わせて会議を開催しご意見を反映しながら進めてきた。

この他、各種事業の実施時期などに合わせたプレスリリースを行い、パブリシティを通じた周知にも努めた。

このような取り組みの結果として、県内の各種イベントの開催と合わせて実施したアンケート結果では、参加者の約6割が「県民税について知っている」との回答を得ている。

具体的な取り組み活動の内容等は次のとおりである。

#### 各種活動の内容

- 1 広報ツール
  - (1) チラシ等の配布（チラシ20万枚、リーフレット5万5千枚）
  - (2) ポスターの掲示（1000枚）
- 2 広報活動
  - (1) 県政放送等（元気ですやまぐち、ふれあい山口4月号、新聞広告等）
  - (2) 市町村、森林組合広報誌などへの掲載（430千部）
  - (3) 県・市の施設やイベント等においてパネル展示（18回）
- 3 イベントの開催等
  - (1) 「やまぐち森林づくりの日」の制定…10月最終日曜日
  - (2) 「やまぐち森林づくりフェスタ」の開催
    - ・開催時期：平成17年10月30日（日曜日）10:00～16:00
    - ・開催場所：下関市 深坂自然の森
    - ・来場者数：2,500人（目標；700人）
  - (3) 地域行事の実施
    - ・県内各地で森林整備体験活動や森林教室等を開催（27箇所、2万人の参加）
  - (4) モデル森林の設定（8広域圏域に2箇所、看板等による掲示）
- 4 やまぐち森林づくり推進協議会
  - ・平成17年4月26日設置（開催回数；4回）
- 5 パブリシティ
  - ・プレスリリース（25回）。TV：6社18回の放映。新聞：9社38回の記事掲載。



## 1 アンケート調査

(1) 実施時期…平成17年10月15,16日、10月30日の3回。

(2) 実施場所…きらら物産・交流フェア等

(3) アンケート回収件数 383名

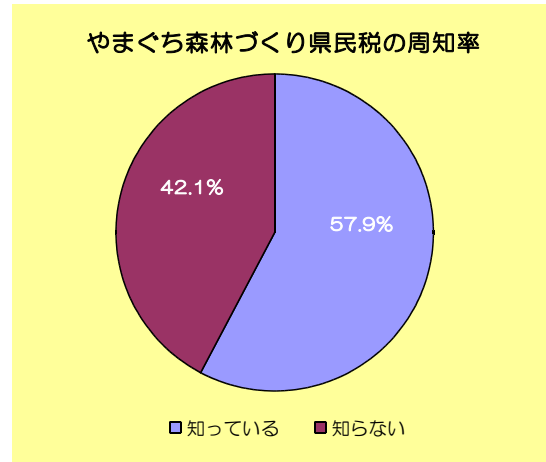
(4) 県民税の周知率（「知っている」と回答した人の割合）… 57.9%

(5) 回答者の傾向

① 男女別…男性の72%、女性の50%が周知。

② 年代別…50歳未満の周知率は39.3%。50歳以上の周知率は69.7%。

③ 職業別…周知率が高いのは農林水産業（96%）や自営業（83%）。不知率が高いのは学生（不知率100%）、主婦（48%）、会社員（47%）。



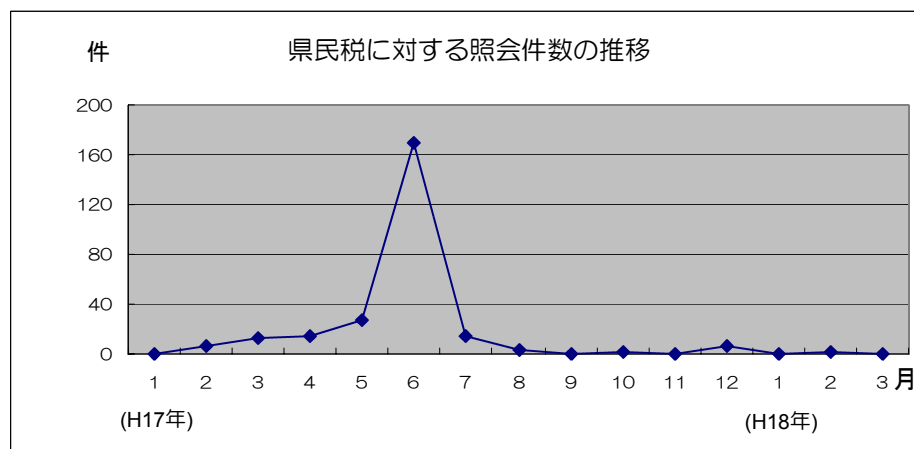
(6) 今後の対応

① 全体的な周知率が6割弱であり、県民全体に対する広報活動を継続と周知率の低い分野を対象とした個別の広報活動の実施。また、広報活動と合わせ、間伐箇所などの具体的な展示や作業状況の視察説明会などを開催し、県民への周知と理解促進を図る。

② 県政世論調査（毎年5月実施）を活用し、定期的に周知度の把握に努め、広報活動に反映。

## 2 県民税に対する照会件数

税の納付通知書が発送された6月には月間200件に及ぶ照会件数があり、税の導入目的等を照会する内容が多かったが、その後は照会件数も減少している。現段階での照会内容には、事業内容など具体的な内容への照会が多い。



平成18年度事業計画

## 1 概要

平成17年度に引き続き、荒廃した人工林の再生を目指す「公益森林整備事業」、繁茂した竹林の再生を目指す「竹繁茂防止緊急対策」など4つのハード事業から構成される「健全で多様な森林づくり」と、本事業の展開に不可欠である県民の理解促進を図るためのソフト事業として「県民との協働による森づくり」を柱として実施することとしている。

なお、やまぐち森林づくり県民税の税収額は、平成18年度から通年ベースとなり、その見込額は3億97百万円。市町村の徴収取扱費22百万円を除いた3億75百万円が平成18年度事業費である。

《平成18年度事業計画》

（単位：千円、円）

区分	事業費等	平成18年度 事業計画	平成17年度 (見込み)	5年間の 整備目標
<b>健全で多様な森林づくりの推進（ハード整備事業）</b>				
公益森林整備事業	整備面積	350	330	2,500
	事業費	176,000	167,000	－
竹繁茂防止緊急対策事業	整備面積	155	145	300
	事業費	159,000	66,500	－
やすらぎの森整備事業	整備面積	3箇所	3箇所	15箇所
	事業費	30,000	30,000	－
魚つき保安林等海岸林 整備事業	整備面積	2	2	10
	事業費	5,000	5,000	－
<b>県民との協働による森林づくりの推進（周知事業）</b>				
県民との協働による 百年の森づくり推進事業	事業費	5,000	7,500	－
計	事業費計	375,000	276,000	－
税収見込額		397,000	296,000	
市町村徴収取扱費 (個人県民税の7%)		22,000	20,000	

(注1) 平成17年度と平成18年度の税収見込額の格差は、平成17年度の納税時期が個人は6月から、法人は中間申告以降となるため。

(注2) 平成17年度税収額の確定時期(決算見込額)は平成18年7月末。

## 2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード整備関連事業）

平成17年度に引き続き荒廃したスギやヒノキの人工林の再生を行う「公益森林整備事業」をはじめとする4種の整備事業に取り組む。

なお、竹繁茂防止緊急対策事業は、繁茂竹林の全伐に加えて、平成17年度において実施した全伐箇所での再生竹の伐採を行う。

各事業の実施計画は次のとおりである。

### (1) 公益森林整備事業

水源のかん養や県土保全など森林の持つ多面的機能の早期回復が求められる荒廃した森林を対象に、強度の間伐を実施し、針葉樹・広葉樹の混じり合った混交林への転換を図る。

#### 《平成18年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定面積	事業費	事業主体等	負担区分
350ha (平成17年度) 330ha	千円 176,000	(事業主体) 森林所有者等 (事業内容) 所有者との協定に基づき 40%以上の強度の間伐を実施	(県) 10/10

【対象となる森林】緊急に多面的機能の回復が必要なダム上流や河川源流域等の人工林。

### (2) 竹繁茂防止緊急対策事業

繁茂竹林等を対象に竹の伐採と、再生竹の処理による継続的な管理を行うことにより、繁茂竹林の広葉樹林等への転換を図る。

#### 《平成18年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定面積	事業費	事業主体等	負担区分
155ha (平成17年度) 145ha	千円 159,000	(事業主体) 県 (事業内容) 繁茂拡大した竹の伐採及 び再生竹の除去	(県) 10/10

【対象となる森林】公共施設や身近な生活の場などの周辺で、森林の持つ機能を低下させている放置竹林。

### (3) やすらぎの森整備事業

広く県民が森林とふれあえる場となる生活に身近な森林の整備等を実施することにより、豊かな森林づくりや税事業への理解を促進する。

#### 《平成18年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定箇所数	事業費	事業主体等	負担区分
3箇所 (平成17年度) 3箇所	千円 30,000	(事業主体) 県 (事業内容) 森林景観整備、林内歩道の整備等	(県) 10/10

【対象となる森林】 生活環境保全林など県民の憩いの場となることが期待される森林。

### (4) 魚つき保安林等海岸林整備事業

身近な生活環境の保全と良好な景観を保持するため、荒廃が著しい魚つき保安林等の海岸林の整備に取り組む。

#### 《平成18年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定面積	事業費	事業主体等	負担区分
2ha (平成17年度) 2ha	千円 5,000	(事業主体) 県 (事業内容) 機能の低下の見られる保安林での簡易施設整備や植栽等	(県) 10/10

【対象となる森林】 松くい虫や台風被害等自然災害により被害を受け、緊急に整備を要する海岸の保安林。

### 3 県民との協働による森林づくりの推進（周知事業）

県民税導入2年目となる平成18年度においては、県民への一層の周知と、具体的な事業内容、税関連事業の効果への理解を促進するため、各種周知活動に取り組む。

特に、公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業など個別の事業が完了した箇所もあるので、県民の皆様には事業箇所を実際に見ていただくような取り組みの実施など整備事業の進捗などと合わせた計画的な周知啓発事業を実施し、税関連事業の効果も含めた理解促進を努めたいと考えている。

また、このような取り組みに当たっては、やまぐち森林づくり推進協議会をはじめとする幅広いご意見を伺いながら進めるとともに、パブリシティなどを通じた周知活動を積極的に進めていきたいと考えている。

事業計画の内容等は次のとおりである。

#### 事業計画の内容

##### 1 県民税関連事業として実施する事業

- (1) 「やまぐち森林づくりフェスタ」の開催
  - ① 開催時期：平成18年10月中旬から下旬
  - ② 開催場所：県東部地域を想定
  - ③ 地域イベントの連携開催
- (2) 広報ツールの作成
  - ① 周知用リーフレット（一般県民向け、森林所有者向け）の配布
  - ② イベントや集会等で活用できるパネルの貸出し
- (3) モデル林の周知と現地視察会の開催等
- (4) やまぐち森林づくり推進協議会の開催（開催回数；3回程度）

##### 2 広報活動

税の目的と合わせ、平成17年度に実施した事業内容の周知を図る。

- (1) 県政放送等（県広報誌「ふれあい山口」の活用、新聞広報等）
- (2) 市町村、森林組合広報誌などへの掲載
- (3) 県・市の施設やイベント等におけるパネル展示
- (4) 国民文化祭、きらら物産・交流フェアなどのイベントや、やまぐちフラワーランドなどの施設のオープンに合わせた周知活動

##### 3 その他

プレスリリースなどを積極的に対応し、引き続きパブリシティを通じた周知を促進するとともに、県政世論調査による周知度の測定等を行う。